



図書室通信

第91号

図書室

5月に行われた創立記念式典の際の講演会は覚えていますか。空を見上げていますか。図書室のカウンター前に「空を見上げていろいろな雲を見つけてみましょう」特集、気象に関する図書を展示しています。本の中にも素敵な空を見つけてみてください。



また、梅雨の時期になると思い出す草野心平作の「誕生祭」をはじめとする「蛙」の詩（『草野心平詩集』（ハルキ文庫）所蔵）は声を出して読んでみたくありませんか。蛙の特集もしています。『Frog and Toad Are Friends』（アーノルド・ローベル作）などを展示しています。

今月は先月号でご案内した「高校生直木賞」決定しましたので、そのご紹介をします。また、今月の特集は「音楽祭」をテーマにしたもの、「時の記念日」に関するものです。



高校生直木賞決定



第10回となった「高校生直木賞」に全国42校が参加。本校の代表者高校2年2組のYさんがオンラインでの予選会に参加し議論をしました。

『**汝、星のごとく**』 凧良ゆう著 に決まりました

候補作品は下記の5冊でした。図書室に所蔵していますので是非読んでみてください。

- 小川哲著『地図と拳』（集英社）
- 窪美澄著『夜に星を放つ』（文藝春秋）
- 千早茜著『しろがねの葉』（新潮社）
- 凧良ゆう著『汝、星のごとく』（講談社）
- 深緑野分著『スタッフロール』（文藝春秋）



夏休みには「高校生直木賞実行委員会」が主催する読書会やイベントがあります。著名な作家の方とお話ができるチャンスです。決定しましたら、ご紹介します。

【歴代の「高校生直木賞」作品】

- 第9回 『同志少女よ、敵を撃て』逢坂冬馬 著
第8回 『雲を紡ぐ』伊吹有喜 著
『オルタネート』加藤シゲアキ 著
第7回 『渦 妹背山婦女庭訓魂結び』大島万寿美 著
第6回 『熱帯』森見登美彦 著
第5回 『くちなし』彩瀬まる 著
第4回 『また、桜の国で』須賀しのぶ 著
第3回 『ナイルパーチの女子会』柚木麻子 著
第2回 『宇喜多の捨て嫁』木下昌輝 著
第1回 『巨鯨の海』伊東潤 著



実際の直木賞とは違う作品が選ばれることもあり、大きな賞の結果に左右されず、高校生たちがしっかりと作品に向き合い、直木賞にふさわしい作品はどのようなものかを真摯に考え選んでいます。



放課後、校舎のあちらこちらから美しいハーモニーが聞こえてきますね。



6月は音楽祭！！



ピアノ演奏や吹奏楽、合唱等、音楽がモチーフになっている小説が多くあります。音楽が聞こえてくるようなお話を集めました。お気に入りを見つけてください。



『ピアノ協奏曲二十一番』遠藤周作 著 文春文庫
『蜜蜂と遠雷』恩田陸 著 幻冬舎
『虹の音色が聞こえたら』関口尚 著 集英社文庫
『風に恋う』額賀滯 著 文藝春秋
『ピアノ調律師』ゴフスタイン著 現代企画室 etc

『音の糸』堀江敏幸著小学館 (760-ホ)

『世界の民族楽器図鑑』民音音楽博物館 監修 (763-ガ)

『ヴォイス・ケア・ブック』ガーフィールド・ディヴィス他 著 音楽之友社(767-デ)